

早期の発見、治療で治る

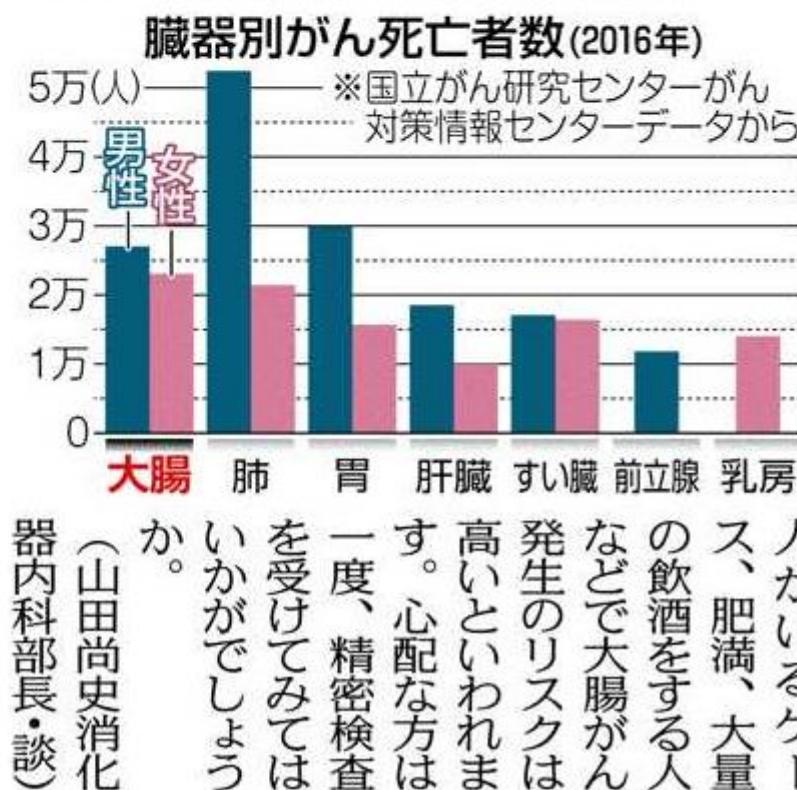
日本ではがんは死因の第一位で、死亡数は年々増えています。中でも大腸がんによる死亡数は、男性で肺がん、胃がんに次いで三位、女性では第一位です。

大腸がんは早期に発見、治療をすれば治る病気です。発見するための便潜血反応検査は、健康診断の項目にも入っています。米国では、日本と比べて大腸がん検診の受検率が高く、大腸がん死亡率はピーク時より半減しています。

しかし日本では年一回の検診を受ける人が少なく、便潜血検査で

陽性となつても、「自覚症状がない」「忙しい」「検査が不安」などの理由で精密検査を受ける人が少ないために、死亡率が高くなっているのが現状です。

ただ、大腸がんであっても早期の場合など、便潜血反応が陽性にならないこともあります。五十歳以上の人や、血縁者に大腸がんの人がいるケイス、肥満、大量の飲酒をする人などで大腸がん発生のリスクは高いといわれます。心配な方は一度、精密検査を受けてみてはいかがでしょう。



中日病院 名古屋
市中区丸の内3の12
の3。中日病院=
052(961)2491

大腸がん(上)